



煤ヶ谷駐在所

厚木警察署

煤ヶ谷駐在所

編集*渡部

TEL 046-223-0110

G 20 大阪サミット等の警備に御理解と御協力を

◎ G 20 大阪サミット (第 14 回金融・世界経済に関する首脳会合) が、6 月 28 日及び 29 日の 2 日間、大阪府大阪市で開催されます。また、首脳会合のほか、5 月から 11 月にかけて関係関係会合が国内 8 か所で開催されます。

主要国の首脳が一堂に会するサミットは、世界中の注目を集めて開催される行事であるため、国際テロ組織や反グローバリズムを掲げる過激な勢力等にとって、格好の攻撃対象となり得ます。このような中、平成 29 年 7 月にドイツで開催された G 20 ハンブルク・サミットでは、反グローバリズムを掲げる勢力等による大規模なデモが行われ、警察部隊への投石や店舗を破壊するなど暴徒化し、約 400 人が身柄を拘束されました。

また、神奈川県内には、イスラム過激派組織等がテロの標的としている米軍基地、公共交通機関等が複数あることから、会議開催地と離れていても、テロ警戒を実施する必要があります。

◎ 神奈川県警察では、テロ等の違法事案等を未然に防止し、県民の安全と安心を確保するため、多くの人が集まる公共交通機関や繁華街等に対する広範囲な警戒警備を行います。警戒警備期間中は、パトロール、検問、職務質問等の警察活動を強化しますので、皆様の御理解と御協力をお願いします。

また、「不審な人物」、「不審な車(物)」等を見かけたときは、110 番通報又は最寄り
の警察署・交番・駐在所に連絡をお願いします。

二輪車の交通事故防止対策の推進

～スピードは、控えめに心にゆとりを！！～

- ◎ 二輪車の交通事故発生状況
神奈川県内では、平成三〇年中に二輪車が関係する交通事故の発生件数、負傷者数は前年に比べて減少しました。しかし、二輪車乗車中に亡くなった方は四六人と前年に比べて七人増加しています。
- ◎ また、全交通事故死者に占める二輪車乗車中に亡くなった方の割合は二八・四パーセントと全国の割合である一七・四パーセントに比べて高い割合を占めています。
- ◎ 県警察における重点推進項目
交通指導取締りの強化
二輪車の交通事故を防止するため、二輪車事故の発生が多い二輪車指定路線に白バイを集中投入して交通指導取締りを強化します。
- ◎ 交通安全教育の推進
通勤や業務で二輪車を利用する方を対象とした二輪車安全教育を実施します。
- ◎ 広報啓発活動の強化
プロテクターやエアバッグジャケットの着用、ヘルメットの正しい着用等の被害軽減対策について周知を図るための広報啓発活動を推進します。
- ◎ また、夜間における二輪車運転者の視認性を向上させるため、明るい服装の着用促進と反射材の活用についても啓発活動を推進します。
- ◎ 観光地、サーブیسエリア等二輪車運転者が集まる場所において、関係機関・団体と連携し、二輪車交通事故防止キャンペーンを実施します。
- ◎ 県民の皆さんに心掛けていただきたいこと
スピードは控えめに、心にゆとりを持って安全運転を！
- ◎ すり抜け運転は、左折車両に巻き込まれたり、対向右折車両と衝突する可能性が高く大変危険です。絶対にやめましょう！
- ◎ プロテクター、エアバッグジャケット、ヘルメットを着用し、万が一の被害軽減対策を行いましょう！
- ◎ 夜間は、明るい服装を心掛け、反射材を活用して視認性を向上させましょう！

事件記録板

4月中旬から5月中旬までの事件は、

・ 交通事故の発生があったものの侵入盗等の事件の発生はありませんでした。

※ 村内に振り込め詐欺等の葉書が投函されているとの情報が多くあります。心配で心配でどうしたらいいでしょうか？との相談が多くありますが、心配する必要は一切ありません。

※ 心配で心配でという真面目な人をターゲットにしているのです。落ち着いて、決して問い合わせをしたり、住所氏名等を教えなくてください。また親が不在の時に知らない人から子供に友達の名前を教えるなどと言ってくる場合も考えられます。どうか子供達は分からないと言って切ってください。知らない人から電話があっても決して対応しないよう、日頃から家庭内で話し合ってください。

駐在所の独り言

～思い出を胸に未来を拓く！！～

思い出や懐かしいという感覚や思い出す習慣を持つ事は、脳に活力をもたらす良い効果があると言われています。また年齢が上がっていくと、ちょっとした息抜き程度の軽い付き合いが心地よく感じる事があると思います。そんなことがあつてか、最近、同級生や同期生から「たまには飲もう」と声が掛かる事がしばしばあります。「お互いに老けたなあ」なんて言いながら酒を飲むのですが、会えば今誰が何をしているか、当時どんな事があったのか等、昔の様々な記憶が走馬灯のように記憶が蘇るんですね。多くは、笑い話ですが、中には、そんな事があったのかとびっくりすることもありますし、今だから話せる恥ずかしい事や、有り得ないなんて話もあります。先月のGWに同級生で親友と会い、懐かしい気持ちも手伝って、親友とよく一緒に来ていた学生当時の彼女の話題になりました。そう言えば彼女から親友との関係や結婚についての悩みを相談をされた事も思い出していました。2人は、すぐでも結婚したい彼女と、まだ就職して間もなく、転勤も控えていた親友は、すぐには結婚出来ないと思っていました。迷い迷って結局別れることになったのですが、別れた理由は、親友は、大学卒業後、製薬メーカー勤務の薬剤師で、別れた彼女は小学校の教員なんです。やはり頻りに転勤する転勤族と地方公務員との結婚は、現実的には、難しいのかと当時は納得していました。二人を振り返ると、厳しくも優しい彼に好かれようと懸命についていこうとす健気な彼女の姿と、優しさの中に保護者のように温かく見守っている彼との二人の姿は、永く夫婦生活を過ごして来た仲の良い熟年夫婦のような阿吽の呼吸で、まさに相性がもびつたりでした。でも二人は別れてから距離をおいて既に30年以上経っていたのです。最近、同窓会で再会して同級生として普通に話が出来るようになれたようです。でもここで事件がありました。同窓会会場で隣の席になった事から、手を握りキスしようとした時、いきなり頬をひっぱたかれたらしいです。これには、正直爆笑です。でもこれも二人だけが知っている30年も前からの阿吽の呼吸が健在だったというのを後で聞いて更にびっくりです。別れる時、「将来会う事があったら殴らせて」と約束していたと言うのです。過去と現在の主導権が真逆で、しかも過去の分と今回の2回分の平手打ちだったようです。でも冷静に見ると、お互いがこれで対等に現在で本当に同級生になれたと言うことでしょうか。そして今後も5年に1度の同窓会に揃って出席する事を約束したようです。現在は、互いに家庭を持っていますから、昔のような付き合いはありませんが、きっと忘れられない思い出になっていたんだと思います。過去の自分があるからこそ、今の自分があります。良かった事、残念な事も全て思い出なんですね。過去を振り返らず、先を見る事も大切ですが、過去の思い出が、今後の生きる活力になればと願っています。